

☆☆☆ このメルマガの内容とは？ ☆☆☆

このメールマガジンは、教育振興運動全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）の推進にあたり、実践事例の紹介や意見交流を行うために、各実践区事務局、県内小中学校、市町村教育委員会、県内指導主事・社会教育主事、そのほか関係者の方々に送信しているものです。

---

< 目 次 >

- 1 【事例紹介】「黒崎実践区（普代村）」 ～家庭学習・読書～  
【資料紹介】「学習・生活アンケート結果」（久慈地区生徒指導推進協議会）
  - 2 【家庭学習】「読書は学力の土台であり、自己教育力の基礎」  
～本好きの子にさせるために親にできること～
  - 3 【読書推進】レッツ！読み聞かせ  
～読み聞かせを家庭でも、学校でも～
  - 4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 5 【みんなの声】ぺっこ言い隊
  - 6 【編集後記】あつしのひとりごと
- 

1 【事例紹介】「黒崎実践区（普代村）」 ～家庭学習・読書～

記念すべき第1回の事例紹介は、普代村立黒崎小学校区の「黒崎実践区」です。  
5月15日開催の市町村教振担当者研修会、そして6月8日開催の久慈地区教育振興運動推進研修会において発表をしていただいた事例です。

「全県共通課題」を提示する前から、学校の「まなびフェスト」の中に、教育振興運動と連携して取り組むものとして「家庭学習」と「読書推進」を地区の重点として位置づけておりました。

「まなびフェスト」の達成に向けて、学校と家庭・地域が話し合い、地域体制を整える・・・そこが大切です。

詳しい紹介は、こちらまで。（紹介事例をダウンロードできます）

⇒ [http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_kurosaki.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_kurosaki.pdf)

---

【資料紹介】久慈地域生徒指導推進協議会「学習・生活アンケート結果」

久慈地域生徒指導推進協議会（学校教職員、教育委員会、PTAで構成）

が、管内児童生徒の実態把握と指導に活用できる資料の提供を目的としておこなった実態調査（H21.1月調査）の結果が公表されました。

学習定着度状況調査での県平均ではなく、目の前にいる子どもたちの生活実態はどうか、この現状を見つめて学校・地域・家庭の問題意識や行動意欲を高めようとする取り組みは素晴らしいと思います。

また、田野畑村のように、今年度の「全県共通課題」の取り組みのひとつとして、村教育委員会が村内の子どもたちの実態調査をおこなっているところもあります。

項目をもっと絞り込んでも良いと思います。久慈地区の取り組みを参考に、学校で、実践区で、市町村で調査をするところから始めませんか？

詳しい紹介は、こちらまで。（資料紹介をダウンロードできます）

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kuji.pdf>

---

## 2 【家庭学習】「読書は学力の土台であり、自己教育力の基礎」

～本好きの子にさせるために親にできること～

ペーパーテストによる「学力」の土台となる書き言葉の読解力を高めるには、読書ほど有効なものはありません。

では、本好きにさせるには、どうしたらよいのでしょうか。

本嫌いな子には、学年に応じた本ではなく、親から見て少し幼稚と思われる本を与えることで、読み通す力がつきます。

読書の習慣がついていない子であれば、読み聞かせからはじめ、奇数は親・偶数は子どもと交互読みするのも良いでしょう。

その際、子どもの読みにケチをつけないでください。本を好きにさせる段階では、なにより読んで楽しい気持ちにさせることが第一です。

また、一人で読みなさいと放り出されて、親はその間テレビを見ているようなことでは、子どもは読書をする気持ちにはなれないでしょう。

毎日の読書習慣がついていない子どもには、必ず親がそばに寄り添って、一緒に読む、ほめながら聞いてあげることが大切です。1日中テレビがついているようなことでは、とても読書好きの子どもにさせることはできません。

夕食後一休みして、食事の片付けもすませ、家族みんなで居間に集まり、20～30分くらい、テレビを消してそれぞれが好きな本を読みます。家族みんながそうすることで、読書嫌いな子どもでも本を読もうという気になってきます。

家族で話し合い、「家読（うちどく）」の約束（いつ・どこで・どんな）を決めると良いと思います。また、小・中学校の連携した取り組みや教育振興運動実

践区の小中共通の取り組みとして子どもや家族に意識させることにより、中学生のお兄ちゃんと小学生の弟と一緒に本を読むという環境も整います。

本を好きにさせることができたら、子どもの自己教育力の基礎ができます。子どもが生涯にわたって学び続ける力（自分で本を読んで学習する力）の基礎ができ、子の親として大きな役割を果たしたと言えるでしょう。

ここで、一首。

子の将来 安ずる前に することあり

一緒に読もう テレビを消して （あつし）

・・・たった 20～30 分。その積み重ねが、大きな分かれ目です。

「家庭学習」の前段階として、問い（問題文）の内容を理解する力を身につけるために必要な「読書ノススメ」でした。次回からは「家庭学習」のお話です。

---

### 3 【読書推進】レッツ！読み聞かせ（その2）

～読み聞かせを家庭でも、学校でも～

今回は、「親子の読み聞かせ」についてでしたが、今回は大勢の子どもたちの前で「絵本」を読む場合についてのお話です。

何人もの子どもたちの前に立つ場合、親子のようにただ楽しめば良いのではなく、そこでは聞き手への「配慮」が必要になると思います。

それは、

- (1) すべての子どもたちに、声が聞こえるように。
- (2) すべての子どもたちに、ちゃんと絵が見えるように。
- (3) すべての子どもたちに、絵本の内容が伝わるように。

当たり前のことですが、子どもたちに伝わらないと、絵本の魅力や読み手の思いは半減します。読み手には、聞き手である子どもたちに寄り添い、伝えるための「心配り」が必要になるのです。

近年、多くの学校に読書ボランティアが立ち上がり、地域においても読書ボランティアの皆さんが活躍しております。また、先生が教室で読み聞かせをおこなっている学校もあるでしょう。

ぜひ、自己満足の「読み」で終わらないように、他の人に見てもらい、聞き手への「心配り」が行き届いているかを学び合ってください。

ちょっとした聞き手への「心配り」。それは、大人に対しても、子どもに対しても同じこと。子どもを「子ども」扱いしないように・・・。

今回は、「読み聞かせの仕方」についてのお話です。

---

#### 4 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

- (教ちゃん) ねえ、「チーム教振」って知ってる？
- (振ちゃん) あのオリンピックに出ていた、氷の上で石をすべらせる・・・。
- (教ちゃん) それは、「チーム青森」でしょ。違うわよ。市町村や実践区での教育振興運動の取り組みを県でもお手伝いしていくというものよ。
- (振ちゃん) へえ～。で、何をしてくれるの？
- (教ちゃん) 保護者や地域、先生を交えた話し合いの進行、勉強会の講師や実践発表の助言もしてくれるんだって。市町村や実践区の要望に応じて、無料で対応してくれるから、お得なのよ！
- (振ちゃん) 家庭教育学級みたいに、「家庭学習」や「読書推進」の勉強会にも使えるし、ボクたち子どもを交えての話し合いもできそうだね。
- (教ちゃん) そうよね。今年度は、雫石町・岩手町・花巻市・釜石市・洋野町・奥州市・田野畑村の7市町村が希望をしているの。市町村教育委員会教振担当が窓口になっているので、何でも相談したらいいわ。
- 

#### 【みんなの声】ぺっこ言い隊

- (1) 楽しく読ませていただきました。  
〇〇市教育委員会には、指導主事が〇名います。教育事務所の社会教育主事さんと一緒に教育振興運動に関わっていきたくて考えております。  
よろしくお願いします。(〇市 Kさん)
- (2) あつしの一句(短歌なので一首ですね) 楽しく拝見しました。  
「読書しろ」 いつもうるさく 言いながら  
テレビを観ている 親の背見る子 (あつし)  
なるほど、です。  
しかし、今の子どもは茶の間でテレビを見なくても、パソコンやゲーム機、携帯等でいつでもどこでも見られる環境なんですよ。家にも中3がいますが、もぐら叩き状態です。  
文明の利器も「過ぎたるは及ばざるが如し」です。  
メルマガ配信、大変とは思いますが、頑張ってください。  
(H市 Sさん)

皆さんの声を、こちらにどんどんお寄せください。

⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

---

#### 【編集後記】あつしのひとりごと

夏祭り 宵かがり 胸の高鳴りに合わせて

八月は 夢花火 私の心は夏もよう・・・Umm mmm♪。

ラジオ体操に向かう子どもたちの声に、夏休みを感じるあつしです。

学校では朝読書をしているけど、夏休みや冬休みになると本を読まなくなるといことが、以前より大きな課題となっております。皆さんの地域・家庭では、いかがでしょうか？

地域の取り組みとして「ラジオ体操に本を持って集まり、体操が終わったら涼しい朝に 15 分読書をしてもいいのでは？」というお話をH町の教振研修会でさせていただいたことがあります。

学校での朝読書が途切れるこの期間、地域の支援でせっかく子どもが身につけた習慣を切らない・・・という学校と地域の連携もいいのでは？

夏休みも残すところ 1 週間。あつし少年は、「読書感想文」が大嫌いでした。毎年、頭を抱えておりました。

★このメールへの感想、ご意見・ご要望がございましたらこちらまで。

⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

★教育振興運動に関する資料を見たくなりましたらこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/etcdoc/index.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

★子育てに迷ったら、ひとりで悩まず「子育ていわてケータイサイト」に。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kt-shien/>

～～～配信元～～～

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

⇒ 学校新聞の裏面に掲載しての各家庭への配布、回覧板を使つての自治会・子ども会への回覧も大歓迎です！

～～～